

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	市有財産管理事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	佐藤浩一
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市の財産		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市有財産が効率的に管理されている また、不要になったものは、売却することで収入に充てられている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 市有財産維持管理事業 市有財産売払い事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
不要市有地の売却 件数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		1	1	1	1	1
	実績値	1	0				
単位	件						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			12,934千円	13,024千円	
人 件 費	a 事業費合計		6,983千円	7,115千円	9,263千円
	正規職員	人数	1人	1人	
		b 金額	5,951千円	5,909千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0.25人	0.25人	
		金額	260千円	257千円	
人件費合計		6,211千円	6,166千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			12,934千円	13,024千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			188円	189円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	事業での利用予定があったため、28年度内の売却は見送ったが、概ね計画どおりである。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	売却可能用地の順位付けを適宜進めたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	より適正な維持管理に努めたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 市有財産管理事業	内容、理由、時期等 用地売却の際は、周知方法の拡大を検討したい。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 市有財産管理事業	内容、理由、時期等 未利用地の貸し出しを検討したい。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等 なし
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		